



ヤマトホールディングス



JAPAN AIRLINES

2023年6月6日
ヤマトホールディングス株式会社
日本航空株式会社

貨物専用機への改修を開始し、 2024年4月の就航に向けた準備を着実に進行

ヤマトホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長尾裕、以下「ヤマトHD」）と日本航空株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：赤坂祐二、以下「JAL」）は、2024年4月から運航開始を予定している貨物専用機の導入にあたり、旅客機から貨物専用機への改修を2023年5月8日（月）からシンガポールで開始しました。改修を終えた航空機が10月下旬に日本へ到着した後、11月下旬から運航乗務員の飛行訓練を実施し、運航開始に向けた準備を着実に進めてまいります。

記

1. 機体の受領・改修状況

(1) 受領状況

3機すべて受領を完了しました。

(2) 改修状況（旅客機から貨物専用機への改修）

2023年5月8日（月）から、シンガポールのSTエンジニアリング社にて、1機目の改修を開始しました。



<機体改修前の1号機（MSN4173）>



<機体改修着手を記念した関係者集合写真>



<格納庫に機体が格納された様子>



<機体の客席が撤去された様子>

9月中旬を目途に改修を終了し、10月下旬に日本への飛行を予定しています。2機目・3機目はフランスにて駐機しています。なお、機体の改修着手に先立ち、2023年5月3日（水）に関係者でセレモニーを実施しました。

貨物専用機への改造プログラムは、ドイツのエルベ・フルクツォイヴェルケ（EFW）社^{※1}と契約しています。

※1 エアバス社とSTエンジニアリング社が出資している会社で、エアバス機の旅客機から貨物専用機への改修などを行っています。シンガポールでは、EFW社の管理監督のもとSTエンジニアリング社が改修を実施します。

2. 運航乗務員の飛行訓練

運航を担うJAL連結子会社のスプリング・ジャパン株式会社は、2023年11月下旬^{※2}から、実機（エアバスA321ceo P2F型機^{※4}）を使った飛行訓練を実施します。

(1) 運航路線：成田空港⇒北九州空港⇒関西空港⇒成田空港（2回／日）*1日あたり6区間を飛行。

(2) 想定スケジュール：^{※3}

	区間	出発時刻	到着時刻
1	成田空港－北九州空港	07:45	09:50
2	北九州空港－関西空港	10:25	11:25
3	関西空港－成田空港	12:00	13:25
4	成田空港－北九州空港	14:30	16:35
5	北九州空港－関西空港	17:10	18:15
6	関西空港－成田空港	18:50	20:15

※2 機体の改修状況によって遅れる可能性があります。

※3 現時点での想定スケジュールであり、今後変更になる可能性があります。

※4 最大搭載重量：28t／機（10t車約5～6台分）

搭載コンテナ：AAYコンテナ（メインデッキ）：14台、AKHコンテナ（ロワーデッキ）：10台

以上

【お問い合わせ先】

<一般の方>

ヤマト運輸株式会社 コールセンター TEL：0120-01-9625

<報道関係の方>

ヤマトホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション戦略担当 TEL：03-3541-4141

日本航空株式会社 広報部 TEL：03-5460-3105

<参考プレスリリース>

「2024年4月から運航を開始する貨物専用機の運航路線・運航便数を決定」(2022年11月22日)

https://www.yamato-hd.co.jp/news/2022/newsrelease_20221122_1.html

「持続的な物流ネットワークの構築に向けてフレイターの運航を2024年4月から開始」(2022年1月21日)

https://www.yamato-hd.co.jp/news/2021/newsrelease_20220121_5.html